



なかしん

# 中小企業景況レポート

## No.22 中栄信用金庫 地域支援部

平成29年1月～3月実績と平成29年4月～6月見込み

### ◆調査概要

調査時期 平成29年3月上旬  
 調査地域 秦野市、伊勢原市、平塚市、厚木市、開成町  
 調査企業数 346社  
 回答企業数 330社

### 【調査先及び回答状況】

	調査先	回答数	回答率
製造業	96	93	96.8
卸売業	26	26	100.0
小売・飲食業	65	65	100.0
サービス業	55	51	92.7
建設業	63	57	90.4
不動産業	41	38	92.6
合計	346	330	95.3

### ◆1月～3月期の概況

#### ～季節需要などの反動により業況は僅かに悪化、一部ではプラス域となる～

当金庫主要営業地区内における中小企業を対象に景気動向調査を実施した結果、全業種総合の業況判断 D.I. は▲4.9 を示し、前回調査（平成28年10月～12月期）に比べ2.5ポイントの悪化となりました。これは、季節需要などの反動減が主要因であるとともに、人件費の増加や人手不足に伴う受注機会の損失等への懸念に加え、長引く仕入価格の高止まりによる収益環境の悪化が足かせとなり、景況感は大層改善となった前回からやや落ち込んだものと思われまます。

一方で、製造業や建設業においては、安定した受注を確保する企業が多く見受けられることから、業況判断 D.I. はプラス域となるほか、設備の不足感が増しており、一部企業においては、生産能力の増強に向けた設備投資や工場・事務所の移転・拡張を検討する動きもみられます。また、特別調査にもあるとおり、人手不足下において、「賃金引き上げと労働生産性の向上」への注力を検討する企業が約3割と、収益力の強化に向けた取り組みを検討する様子が窺えるものの、海外政治情勢の不透明感や人手不足の深刻化、個人消費低迷の長期化への懸念から、先行きは慎重な見方が続いております。

項目別にみると、売上実績 D.I. は12.0ポイント悪化の▲0.9、収益実績 D.I. は12.6ポイント悪化の▲4.5となっております。また、仕入価格 D.I. は上昇感が強まり3.2ポイント上昇の18.5、人手過不足については0.7ポイント不足感が強まり▲33.7、資金繰り D.I. は4.1ポイント悪化の▲17.6となっております。

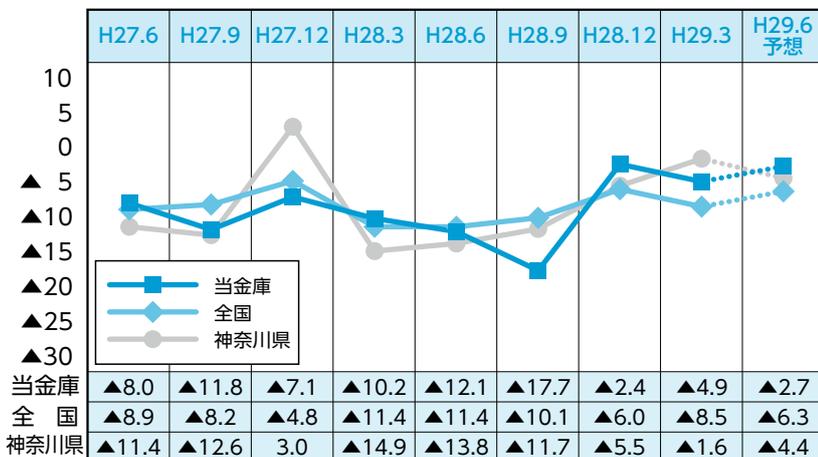
また業種別の景況感、不動産業が19.4ポイント改善の2.7、製造業が4.3ポイント改善の4.3、小売・飲食業が2.5ポイント悪化の▲23.1、卸売業が3.9ポイント悪化の▲23.1、建設業が8.4ポイント悪化の15.8、サービス業が20.0ポイント悪化の▲18.0となっております。（業種別の詳細については、次頁以降をご参照ください。）

なお、全国の中小企業業況判断 D.I. は、2.5ポイント悪化の▲8.5、神奈川県内は、3.9ポイント改善の▲1.6となっております。（全国と神奈川県の D.I. 値については、信金中央金庫による調査に基づいております。以下同様。）

### ◆4月～6月期の見通し

来期の業況判断予想は、2.2ポイント改善の▲2.7、売上額 D.I. は3.0ポイント改善の2.1、収益 D.I. は3.9ポイント改善の▲0.6の予想となり、製造業、卸売業、小売・飲食業で改善の見込みとなっております。

#### 業況判断 D.I. 値 (全業種)



#### 業種別景気天気図

	前期	今期	予想
総合			
製造業			
卸売業			
小売・飲食業			
サービス業			
建設業			
不動産業			

※この天気図は、景気指標を総合的に判断して作成しました。

好調 ← → 低調  
良い ← → 悪い

全国、神奈川県の業況判断 D.I. 値は、信金中央金庫 地域・中小企業研究所が全国約16,000（うち神奈川県約480）の中小企業を対象に実施している「全国中小企業景気動向調査」の調査データに基づいております。

D.I. 値とは、ディフュージョン・インデックス（Diffusion Index）の略で、「良い」「やや良い」と回答した企業の割合から、「悪い」「やや悪い」と回答した企業の割合を引いた値です。値が小さいほど業況判断は悪いということになります。

# 製造業

## 概況

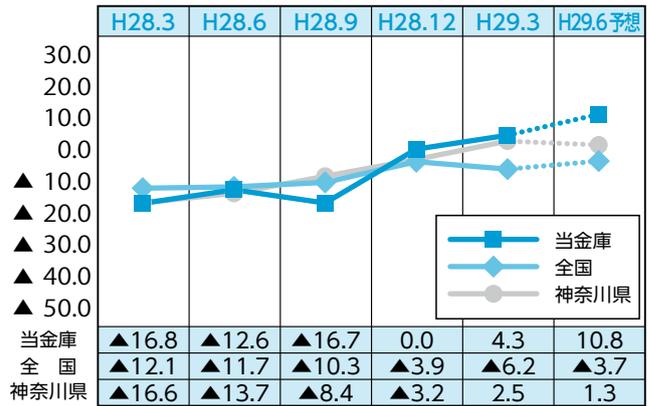
製造業の業況判断D.I.は前回調査比4.3ポイント改善の4.3と、2年ぶりにプラス域となりました。項目別では、売上額D.I.は前回調査比14.2ポイント悪化の10.8、収益D.I.は15.5ポイント悪化の1.1となっております。

これは、年度末に伴う大手企業の在庫・生産調整や仕入・原材料価格の高止まりにより、売上額・収益D.I.は悪化に至っておりますが、約4割の企業が、昨年同期に比べ、売上・収益が増加したと回答していることから、自動車部品関連を中心とした生産の持ち直しの様子が窺え、景況感は2期連続の改善に至ったものと思われれます。また、一部企業においては、生産能力の増強に向けた設備投資を検討する動きや自社の技術力を活かした商品開発を行い、新規取引先の開拓を目論む企業が見受けられます。

なお、全国は2.3ポイント悪化の▲6.2となっており、神奈川県は5.7ポイント改善の2.5となっております。

来期の予想業況判断については、6.5ポイント改善の10.8と予想されております。

## 業況判断D.I.値



### 売上額

	前期実績	当期中間	当期末	D.I.
前期実績	44.7	35.6	19.7	25.0
当期中間	33.3	44.2	22.5	10.8
当期末	33.6	46.9	19.5	14.1
前年同期比	40.8	35.6	23.6	17.2

### 販売価格

	前期実績	当期中間	当期末	D.I.
前期実績	9.3	81.4	9.3	0.0
当期中間	3.2	88.2	8.6	▲5.4
当期末	6.5	85.9	7.6	▲1.1

### 在庫

	前期実績	当期中間	当期末	D.I.
前期実績	9.3	89.7	1.0	8.3
当期中間	12.9	85.0	2.1	10.8
当期末	6.5	91.4	2.1	4.4

### 人手

	前期実績	当期中間	当期末	D.I.
前期実績	8.3	59.5	32.2	▲23.9
当期中間	8.6	50.6	40.8	▲32.2
当期末	8.6	51.2	40.2	▲31.6

### 収益

	前期実績	当期中間	当期末	D.I.
前期実績	34.3	48.0	17.7	16.6
当期中間	24.7	51.7	23.6	1.1
当期末	27.1	52.3	20.6	6.5
前年同期比	39.7	37.8	22.5	17.2

### 原材料価格

	前期実績	当期中間	当期末	D.I.
前期実績	16.6	80.3	3.1	13.5
当期中間	24.7	74.3	1.0	23.7
当期末	30.4	68.6	1.0	29.4

### 資金繰り

	前期実績	当期中間	当期末	D.I.
前期実績	11.4	62.6	26.0	▲14.6
当期中間	11.8	70.0	18.2	▲6.4
当期末	11.9	74.0	14.1	▲2.2

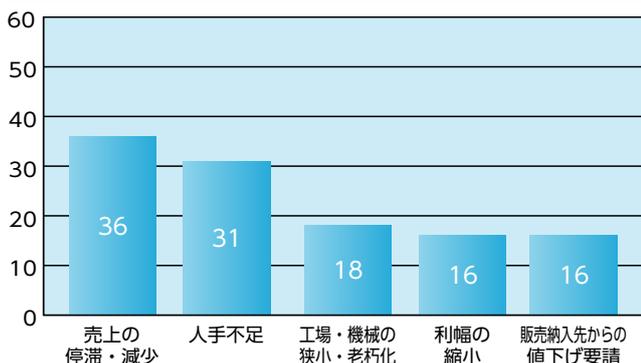
### 設備状況

	前期実績	当期中間	当期末	D.I.
前期実績	9.5	70.3	20.2	▲10.7
当期中間	7.6	70.7	21.7	▲14.1
当期末	6.5	71.8	21.7	▲15.2

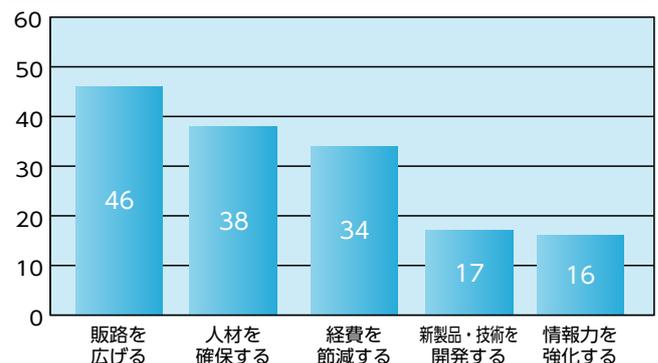
当期実績…29年 1～3月期  
来期予想…29年 4～6月期

□ 良い、増加、上昇 過剰、楽 □ 普通、変わらず 適正 □ 悪い、減少、下降 不足、苦しい

## 経営上の問題点 (複数回答)



## 当面の重点経営施策 (複数回答)



# 卸売業

## 概況

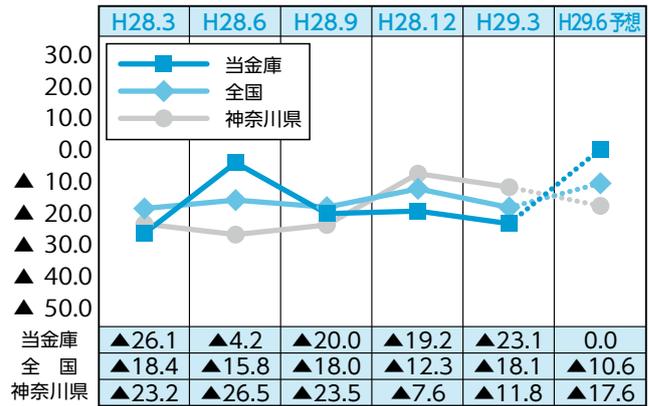
卸売業の業況判断 D.I. は前回調査比 3.9 ポイント悪化の▲23.1 となりました。項目別では、売上額 D.I. は前回調査比 3.8 ポイント悪化の▲15.4、収益 D.I. は 15.3 ポイント悪化の▲19.2 となっております。

これは建設業の受注状況にやや一服感がみられ、建築材料卸売業を中心に売上が減少したことに加え、下記の経営上の問題点にもあるとおり、為替レートの変動を懸念する企業も見受けられ、原材料等の仕入価格上昇による収益の圧迫が足かせとなり、資金繰り D.I. は 15.4 ポイント悪化の▲23.1 となったことから、業況悪化に至ったものと思われます。また、一部の食料品卸売業においては、業況改善に向け、販売先との価格交渉を行う企業や新たな取引先と連携した取り組みを行う企業も見受けられます。

なお、全国は 5.8 ポイント悪化の▲18.1 となっており、神奈川県は 4.2 ポイント悪化の▲11.8 となっております。

来期の予想業況判断については、23.1 ポイント改善の 0.0 と予想されております。

## 業況判断D.I.値



### 売上額

	前期実績	23.0	42.4	34.6	D.I.
前期実績	23.0	42.4	34.6	▲11.6	
当期実績	19.2	46.2	34.6	▲15.4	
来期予想	23.0	54.0	23.0	0.0	
前年同期比	19.2	50.1	30.7	▲11.5	

### 販売価格

	前期実績	15.3	69.4	15.3	D.I.
前期実績	15.3	69.4	15.3	0.0	
当期実績	7.6	88.6	3.8	3.8	
来期予想	7.6	88.6	3.8	3.8	

### 在庫

	前期実績	4.0	96.0	4.0	D.I.
前期実績	4.0	96.0	4.0	4.0	
当期実績	7.6	88.6	3.8	3.8	
来期予想	7.6	88.6	3.8	3.8	

### 人手

	前期実績	73.1	26.9	26.9	D.I.
前期実績	73.1	26.9	26.9	▲26.9	
当期実績	7.6	73.2	19.2	▲11.6	
来期予想	15.3	65.5	19.2	▲3.9	

### 収益

	前期実績	23.0	50.1	26.9	D.I.
前期実績	23.0	50.1	26.9	▲3.9	
当期実績	11.5	57.8	30.7	▲19.2	
来期予想	19.2	57.8	23.0	▲3.8	
前年同期比	19.2	53.9	26.9	▲7.7	

### 仕入価格

	前期実績	20.0	64.0	16.0	D.I.
前期実績	20.0	64.0	16.0	4.0	
当期実績	23.0	73.2	3.8	19.2	
来期予想	15.3	80.9	3.8	11.5	

### 資金繰り

	前期実績	19.2	53.9	26.9	D.I.
前期実績	19.2	53.9	26.9	▲7.7	
当期実績	3.8	69.3	26.9	▲23.1	
来期予想	11.5	73.2	15.3	▲3.8	

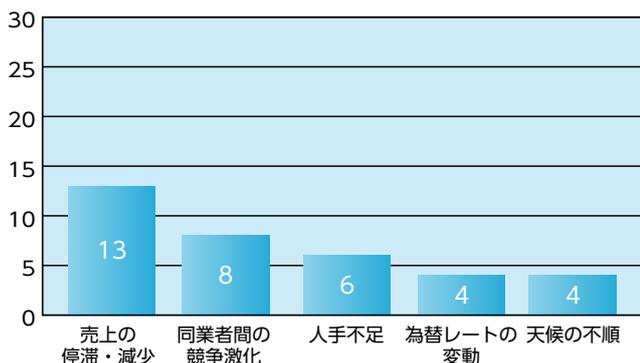
### 設備状況

	前期実績	4.0	80.0	16.0	D.I.
前期実績	4.0	80.0	16.0	▲12.0	
当期実績	7.6	80.9	11.5	▲3.9	
来期予想	7.6	80.9	11.5	▲3.9	

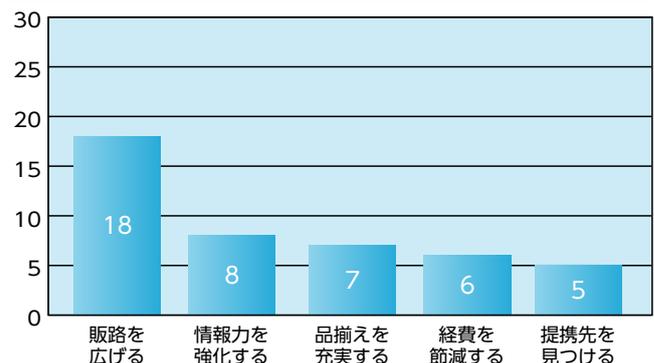
当期実績…29年 1～3月期  
来期予想…29年 4～6月期

□ 良い、増加、上昇 過剰、楽 □ 普通、変わらず 適正 □ 悪い、減少、下降 不足、苦しい

## 経営上の問題点 (複数回答)



## 当面の重点経営施策 (複数回答)



# 小売・飲食業

## 概況

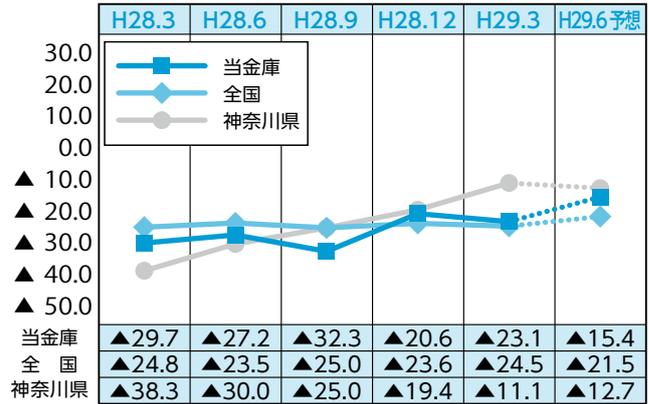
小売・飲食業の業況判断 D.I. は前回調査比 2.5 ポイント悪化の▲23.1 となりました。項目別では、売上額 D.I. は前回調査比 12.6 ポイント悪化の▲11.0、収益 D.I. は 12.5 ポイント悪化の▲9.3 となっております。

これは飲食料品小売業を中心とした季節需要の反動減に加え、一部では、不採算店舗の閉鎖がみられたことから、売上額 D.I. が 1 年ぶりに悪化するとともに、人手不足や最低賃金の引き上げに伴う人件費の増加など厳しい収益環境が窺え、景況感は悪化に至ったものと思われます。また、一部企業においては、広告宣伝の強化に向け、新たに電子媒体などを活用する動きや他店との差別化を図るため、独自の店舗づくりに取り組む動きも見受けられます。

なお、全国は 0.9 ポイント小幅悪化の▲24.5、神奈川県は 8.3 ポイント改善の▲11.1 となっております。

来期の予想業況判断については、7.7 ポイント改善の▲15.4 と予想されております。

## 業況判断D.I.値



### 売上額

	前期実績	当期実績	来期予想	前年同期比	D.I.
前期実績	31.7	38.2	30.1		1.6
当期実績	26.5	36.0	37.5	▲11.0	
来期予想	28.1	40.7	31.2	▲3.1	
前年同期比	19.3	46.9	33.8	▲14.5	

### 販売価格

	前期実績	当期実績	来期予想	D.I.
前期実績	11.1	82.6	6.3	4.8
当期実績	6.2	84.5	9.3	▲3.1
来期予想	9.3	81.4	9.3	0.0

### 在庫

	前期実績	当期実績	来期予想	D.I.
前期実績	22.2	76.3	1.5	20.7
当期実績	17.1	79.8	3.1	14.0
来期予想	17.1	78.3	4.6	12.5

### 人手

	前期実績	当期実績	来期予想	D.I.
前期実績	9.5	52.5	38.0	▲28.5
当期実績	4.6	59.5	35.9	▲31.3
来期予想	4.6	56.4	39.0	▲34.4

### 収益

	前期実績	当期実績	来期予想	前年同期比	D.I.
前期実績	30.1	43.0	26.9		3.2
当期実績	25.0	40.7	34.3	▲9.3	
来期予想	23.4	48.5	28.1	▲4.7	
前年同期比	19.3	50.1	30.6	▲11.3	

### 仕入価格

	前期実績	当期実績	来期予想	D.I.
前期実績	23.8	73.1	3.1	20.7
当期実績	17.1	81.4	1.5	15.6
来期予想	21.8	72.0	6.2	15.6

### 資金繰り

	前期実績	当期実績	来期予想	D.I.
前期実績	7.9	60.4	31.7	▲23.8
当期実績	3.1	67.3	29.6	▲26.5
来期予想	7.8	59.4	32.8	▲25.0

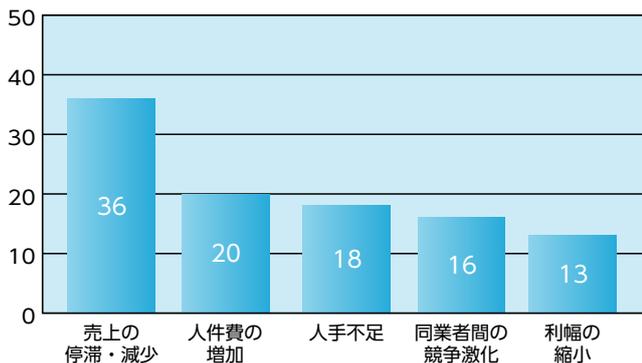
### 設備状況

	前期実績	当期実績	来期予想	D.I.
前期実績	3.1	79.5	17.4	▲14.3
当期実績	3.1	75.1	21.8	▲18.7
来期予想	3.1	76.3	20.6	▲17.5

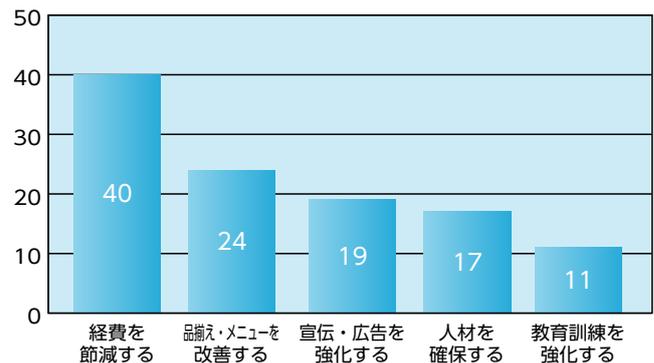
当期実績…29年 1～3 月期  
来期予想…29年 4～6 月期

□ 良い、増加、上昇、過剰、楽 □ 普通、変わらず、適正 □ 悪い、減少、下降、不足、苦しい

## 経営上の問題点 (複数回答)



## 当面の重点経営施策 (複数回答)



# サービス業

## 概況

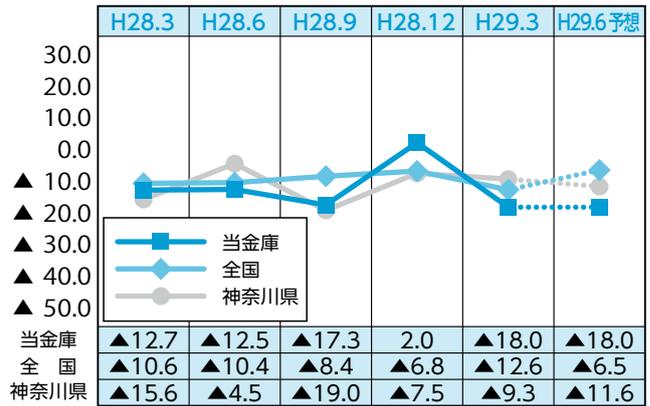
サービス業の業況判断D.I.は前回調査から20.0ポイント悪化の▲18.0となりました。項目別では、売上額D.I.は前回調査比41.4ポイント悪化の▲29.4、収益D.I.は35.3ポイント悪化の▲29.4となっております。

これは秋の観光シーズンや年末需要の反動により、宿泊業や美容業を中心に売上が減少したことに加え、消費者の節約志向が根強く、人件費などの経費上昇分を料金価格に転嫁できていない状況が窺えることから、主要項目の連鎖的悪化を招いているものと思われます。また経営上の問題点として、店舗・設備の狭小・老朽化を挙げる企業が増加し、約2割の企業が、機械・設備の更改または新増設を検討する動きが見受けられるものの、今後の業況見通しは横這いと予想されることから、設備投資に慎重な様子も窺えます。

なお、全国は5.8ポイント悪化の▲12.6となっており、神奈川県は1.8ポイント小幅悪化の▲9.3となっております。

来期の予想業況判断については、横這いの▲18.0と予想されております。

## 業況判断D.I.値



### 売上額

	前期実績	当期実績	来期予想	前年同期比	D.I.
前期実績	36.0	40.0	24.0		12.0
当期実績	13.7	43.2	43.1	▲29.4	
来期予想	33.3	37.3	29.4	3.9	
前年同期比	18.0	44.0	38.0	▲20.0	

### 料金価格

	前期実績	当期実績	来期予想	D.I.
前期実績	-1.9	92.3	5.8	▲3.9
当期実績	-5.8	82.5	11.7	▲5.9
来期予想	-1.9	84.4	13.7	▲11.8

### 資金繰り

	前期実績	当期実績	来期予想	D.I.
前期実績	11.7	57.0	31.3	▲19.6
当期実績	-7.8	55.0	37.2	▲29.4
来期予想	-9.8	60.8	29.4	▲19.6

### 設備状況

	前期実績	当期実績	来期予想	D.I.
前期実績	-1.9	80.5	17.6	▲15.7
当期実績	-3.9	76.5	19.6	▲15.7
来期予想	-1.9	76.6	21.5	▲19.6

### 収益

	前期実績	当期実績	来期予想	前年同期比	D.I.
前期実績	29.4	47.1	23.5		5.9
当期実績	7.8	55.0	37.2	▲29.4	
来期予想	29.4	43.2	27.4	2.0	
前年同期比	-10.0	46.0	44.0	▲34.0	

### 材料価格

	前期実績	当期実績	来期予想	D.I.
前期実績	29.4	64.8	5.8	23.6
当期実績	23.5	74.6	1.9	21.6
来期予想	17.6	80.5	1.9	15.7

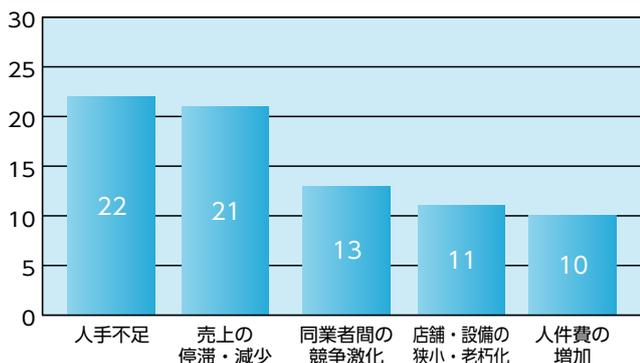
### 人手

	前期実績	当期実績	来期予想	D.I.
前期実績	-3.9	47.1	49.0	▲45.1
当期実績	-4.0	56.0	40.0	▲36.0
来期予想	-2.0	54.0	44.0	▲42.0

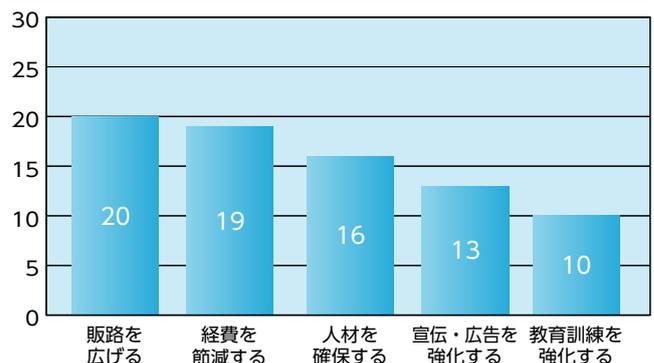
当期実績…29年 1～3月期  
来期予想…29年 4～6月期

□ 良い、増加、上昇 過剰、楽 □ 普通、変わらず 適正 □ 悪い、減少、下降 不足、苦しい

## 経営上の問題点 (複数回答)



## 当面の重点経営施策 (複数回答)



# 建設業

## 概況

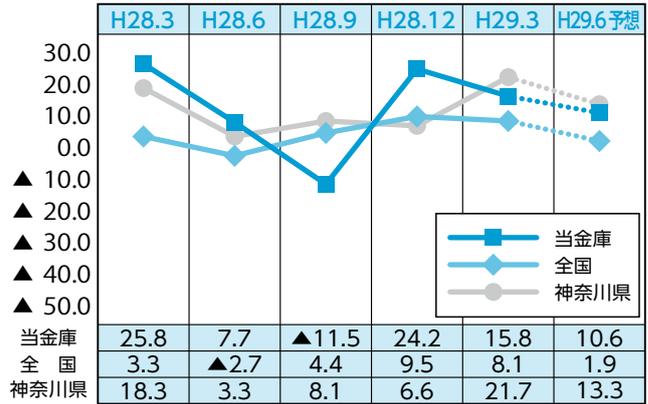
建設業の業況判断 D.I. は前回調査比 8.4 ポイント悪化の 15.8 となりました。項目別では、売上額 D.I. は前回調査比 0.7 ポイント悪化の 12.2、収益 D.I. は 2.2 ポイント悪化の 12.3 となっております。

大型の民間工事や公共工事の安定した受注を確保する企業が多く、約 3 割強の企業が、前年同期に比べ、売上が増加したと回答していることから、受注は堅調に推移しているものの、人手不足 D.I. が ▲53.5 と調査以来最も不足感が強まり、人手不足に伴う受注機会の損失や労務費の上昇に苦慮する様子が窺えることから、景況感は落ち込んだものと思われまます。また一部では、工事受注の採算改善に向けた適正な積算管理の徹底や工事受注の選別を課題とする企業も見受けられます。

全国は 1.4 ポイント小幅悪化の 8.1 となっており、神奈川県は 15.1 ポイント改善の 21.7 となっております。

来期の予想業況判断については、5.2 ポイント悪化の 10.6 と予想されております。

## 業況判断D.I.値



### 売上額

	前期実績	29年 1~3月期	29年 4~6月期	D.I.
前期実績	29.0	54.9	16.1	12.9
当期実績	35.0	42.2	22.8	12.2
来期予想	26.3	50.9	22.8	3.5
前年同期比	35.0	44.0	21.0	14.0

### 請負価格

	前期実績	29年 1~3月期	29年 4~6月期	D.I.
前期実績	14.5	71.0	14.5	0.0
当期実績	12.2	75.6	12.2	0.0
来期予想	8.7	77.3	14.0	▲5.3

### 在庫

	前期実績	29年 1~3月期	29年 4~6月期	D.I.
前期実績	3.2	96.8		3.2
当期実績	1.7	96.6	1.7	0.0
来期予想	1.7	94.8	3.5	▲1.8

### 人手

	前期実績	29年 1~3月期	29年 4~6月期	D.I.
前期実績	50.0	50.0		▲50.0
当期実績	46.5	53.5		▲53.5
来期予想	1.7	53.7	44.6	▲42.9

### 収益

	前期実績	29年 1~3月期	29年 4~6月期	D.I.
前期実績	30.6	53.3	16.1	14.5
当期実績	33.3	45.7	21.0	12.3
来期予想	19.6	62.6	17.8	1.8
前年同期比	29.8	42.2	28.0	1.8

### 材料価格

	前期実績	29年 1~3月期	29年 4~6月期	D.I.
前期実績	29.5	68.9	1.6	27.9
当期実績	31.5	68.5		31.5
来期予想	22.8	77.2		22.8

### 資金繰り

	前期実績	29年 1~3月期	29年 4~6月期	D.I.
前期実績	16.1	63.0	20.9	▲4.8
当期実績	7.0	68.5	24.5	▲17.5
来期予想	7.0	84.3	8.7	▲1.7

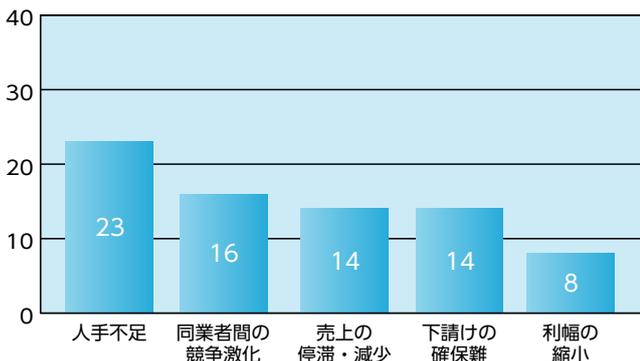
### 設備状況

	前期実績	29年 1~3月期	29年 4~6月期	D.I.
前期実績	1.6	91.8	6.6	▲5.0
当期実績	1.7	89.4	8.9	▲7.2
来期予想	1.8	94.6	3.6	▲1.8

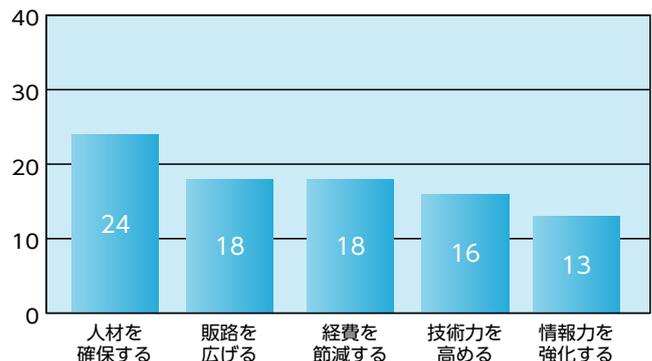
当期実績…29年 1~3月期  
来期予想…29年 4~6月期

□ 良い、増加、上昇 普通、変わらず 悪い、減少、下降  
過剰、楽 適正 不足、苦しい

## 経営上の問題点 (複数回答)



## 当面の重点経営施策 (複数回答)



# 不動産業

## 概況

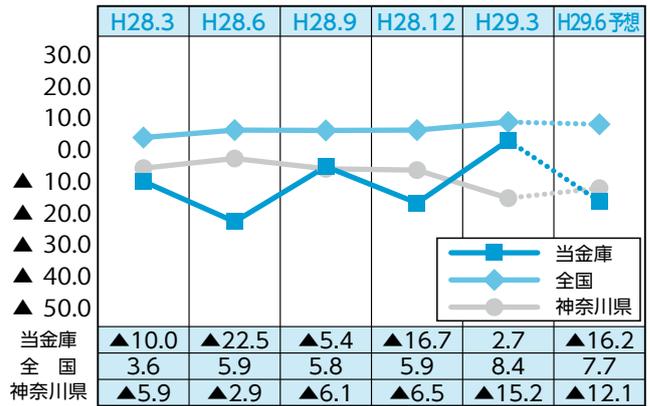
不動産業の業況判断D.I.は前回調査比19.4ポイント改善の2.7と、調査開始以来、初めてプラス域となりました。項目別では、売上額D.I.は前回調査比13.1ポイント改善の15.8、収益D.I.は13.4ポイント改善の7.9となっております。

これは、湘南エリアを中心に、保有していた商品物件の売却が進んだことに加え、賃貸収入による安定した収益の確保を目的とした物件購入に動きがみられたことから、売上額・収益D.I.が改善に至ったものの、景況感は一進一退で推移しており、先行きは厳しい見通しとなっております。また、在庫D.I.が▲44.8と14.3ポイント不足感が強まる中、収益を勘案した商品物件の仕入れを課題とする企業が多く、一部企業においては、自社の不動産の有効活用に向け、新たな事業を検討する動きもみられます。

なお、全国は2.5ポイント改善の8.4となっており、神奈川県は8.7ポイント悪化の▲15.2となっております。

来期の予想業況判断については、18.9ポイント悪化の▲16.2と予想されております。

## 業況判断D.I.値



### 売上額

	前期実績	当期実績	来期予想	前年同期比	D.I.
前期実績	27.7	47.3	25.0		2.7
当期実績	36.8	42.2	21.0		15.8
来期予想	+7.8	63.3	28.9	▲21.1	
前年同期比	28.9	50.1	21.0		7.9

### 販売価格

	前期実績	当期実績	来期予想	前年同期比	D.I.
前期実績	61.2	38.8			▲38.8
当期実績	-10.5	58.0	31.5	▲21.0	
来期予想	-5.2	63.3	31.5	▲26.3	

### 在庫

	前期実績	当期実績	来期予想	前年同期比	D.I.
前期実績	-8.3	52.9	38.8		▲30.5
当期実績	-7.8	39.6	52.6	▲44.8	
来期予想	-7.8	44.9	47.3	▲39.5	

### 人手

	前期実績	当期実績	来期予想	前年同期比	D.I.
前期実績	-2.7	72.3	25.0		▲22.3
当期実績	-2.6	71.1	26.3	▲23.7	
来期予想	-2.6	73.8	23.6	▲21.0	

### 収益

	前期実績	当期実績	来期予想	前年同期比	D.I.
前期実績	22.2	50.1	27.7		▲5.5
当期実績	31.5	44.9	23.6	7.9	
来期予想	-10.5	63.2	26.3	▲15.8	
前年同期比	28.9	50.1	21.0		7.9

### 仕入価格

	前期実績	当期実績	来期予想	前年同期比	D.I.
前期実績	11.1	63.9	25.0		▲13.9
当期実績	-10.5	65.9	23.6	▲13.1	
来期予想	-5.2	76.4	18.4	▲13.2	

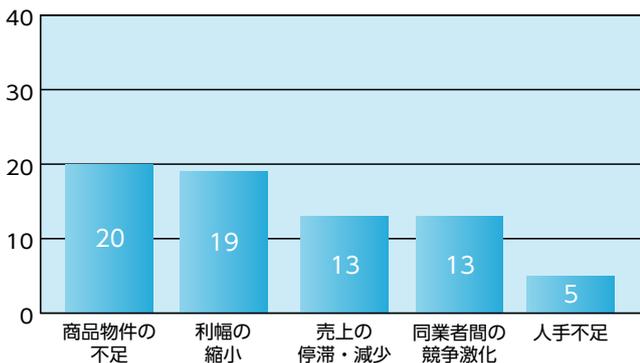
### 資金繰り

	前期実績	当期実績	来期予想	前年同期比	D.I.
前期実績	11.1	75.1	13.8		▲2.7
当期実績	-10.5	68.5	21.0	▲10.5	
来期予想	-2.6	79.0	18.4	▲15.8	

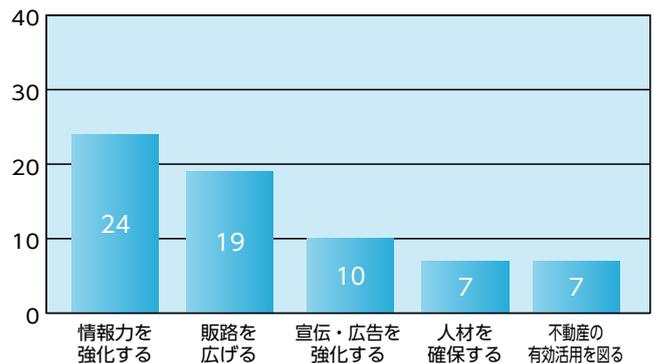
当期実績…29年 1～3月期  
来期予想…29年 4～6月期

□ 良い、増加、上昇 過剰、楽 □ 普通、変わらず 適正 □ 悪い、減少、下降 不足、苦しい

## 経営上の問題点 (複数回答)



## 当面の重点経営施策 (複数回答)



当金庫のお客様 346 社にお願いして特別調査を実施いたしました。

問1. 少子高齢化社会の進展にともない、企業経営上の課題の一つとして人手不足がクローズアップされています。こうしたなか、女性の活躍推進が期待されていますが、貴社の従業員数に占める女性の割合(非正規含む)はおよそどのくらいですか。また現在、女性が最も活躍してらっしゃる職務はどのような分野ですか。

(割合)	(最も活躍している職務分野)
○ 10%未満 ..... 110 社	○ 営業・販売・接客 ..... 90 社
○ 10%以上 30%未満 ..... 76 社	○ 総務・経理・庶務 ..... 147 社
○ 30%以上 50%未満 ..... 53 社	○ 企画・管理・研究開発 ..... 1 社
○ 50%以上 70%未満 ..... 43 社	○ 製造・生産・現場作業 ..... 47 社
○ 70%以上 ..... 44 社	○ その他 ..... 29 社

問2. 高齢者(ここでは60歳以上を想定)の活躍推進について、貴社の従業員数に占める高齢者の割合(非正規含む)はおよそどのくらいですか。また現在、高齢者が最も活躍している職務はどのような分野ですか。

(割合)	(最も活躍している職務分野)
○ 10%未満 ..... 170 社	○ 営業・販売・接客 ..... 78 社
○ 10%以上 30%未満 ..... 79 社	○ 総務・経理・庶務 ..... 38 社
○ 30%以上 50%未満 ..... 41 社	○ 企画・管理・研究開発 ..... 7 社
○ 50%以上 70%未満 ..... 24 社	○ 製造・生産・現場作業 ..... 115 社
○ 70%以上 ..... 5 社	○ その他 ..... 65 社

問3. 外国人の活躍推進について、貴社の従業員数に占める外国人の割合(非正規含む)はおよそどのくらいですか。また現在、外国人が最も活躍している職務はどのような分野ですか。

(割合)	(最も活躍している職務分野)
○ 10%未満 ..... 254 社	○ 営業・販売・接客 ..... 14 社
○ 10%以上 30%未満 ..... 10 社	○ 総務・経理・庶務 ..... 3 社
○ 30%以上 50%未満 ..... 5 社	○ 企画・管理・研究開発 ..... 0 社
○ 50%以上 70%未満 ..... 1 社	○ 製造・生産・現場作業 ..... 47 社
○ 70%以上 ..... 1 社	○ その他 ..... 149 社

問4. 女性、高齢者、外国人の活躍推進それぞれについて、貴社では、今後、どのようにお考えですか。

(女性の活躍)	(高齢者の活躍)	(外国人の活躍)
○ 増やす方針 ..... 82 社	○ 増やす方針 ..... 28 社	○ 増やす方針 ..... 15 社
○ どちらともいえない... 236 社	○ どちらともいえない... 258 社	○ どちらともいえない... 256 社
○ 減らす方針 ..... 5 社	○ 減らす方針 ..... 28 社	○ 減らす方針 ..... 19 社

問5. 政府は、「働き方改革実現会議」において、以下の9項目を課題として検討しています。これら9項目のうち、貴社が注力しようと考えているものを3つ以内で選んでお答えください。

○ 女性・若者が活躍しやすい環境整備 ..... 105 社	○ 病気の治療、子育て・介護と仕事の両立 ... 13 社
○ 賃金引き上げと労働生産性の向上 ..... 99 社	○ テレワーク、副業・兼業など柔軟な働き方 ... 10 社
○ 長時間労働の是正 ..... 53 社	○ 外国人材の受入れ ..... 6 社
○ 同一労働同一賃金など非正規雇用の処遇改善 ... 35 社	○ 柔軟な転職支援、格差是正のための人材育成... 4 社
○ 高齢者の就業促進 ..... 30 社	○ 特にない ..... 103 社

## IT 導入補助金のご紹介

今回は、経済産業省より、公募が開始された IT ツールの導入にかかる費用の一部を支援する IT 導入補助金(サービス等生産性向上 IT 導入支援事業補助金)のご紹介をいたします。

【補助金の内容について】 ※公募締切り：平成 29 年 6 月 30 日まで

補助対象者	日本国内に本社及び実施場所を有する中小企業者等
補助上限額	100万円(下限額20万円)
補助率	2/3以内
補助対象事業	IT導入補助金事務局が認定したIT導入支援事業者が登録するITツール(ソフトウェア、サービス等)を導入する、日本国内で実施される事業であること。
補助対象経費	サービス、ソフトウェア導入費



※交付決定前に契約・導入され発生した経費は補助対象外となりますので注意が必要です。

(公募要領や交付申請の手引きはこちら [IT 導入補助金](#) [検索](#))